ごあいさつ

第31回 道銀芸術文化奨励賞受賞を記念して

蘭越町在住の彫刻家 吉田みなみさんに

個展を開いていただくことになりました

作家独自の感性で捉えた世界観を

是非この機会にご高覧賜わりますよう

ご案内申し上げます

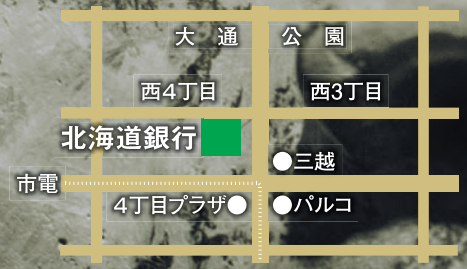
2022年4月

公益財団法人　道銀文化財団

声をあつめる人
2021年　石膏
60.0×90.0×40.0cm

第31回 道銀芸術文化奨励賞 受賞記念

吉田みなみ展



らいらっく・ぎゃらりい
札幌市中央区大通西4丁目 北海道銀行本店ビル1F
地下鉄大通駅【出口4】【出口9】直結

公益財団法人 **道銀文化財団**
札幌市中央区大通西4丁目1番地 道銀ビル別館8F
Tel 011-233-1029／Fax 011-221-0481
URL　https://www.dogin-bunkazaidan.org

本冊子に掲載されている図版等の無断転載を固く禁じております。

2022年4月5日（火）～4月10日（日）
10:00～18:00　最終日は16:00まで
らいらっく・ぎゃらりい

声をあつめる人 吉田みなみ

吉田みなみさんからの作品からは、いろいろな声が聞こえてきます。天使のような優しい声や励まされるような力強い響き、照れたような囁き声だったりと。素朴な佇まいを見せる吉田さんの人物像は、私の中ではマイヨールの地中海的なブロンズ像と重なります。どちらの作品も身近な雰囲気をまといながら、時間や空間を飛び越えた大らかなスケール感を伝えてくれるのです。

造形の神様は、幼い吉田さんに紙や粘土を託しました。それが、中学、高校、大学での専門教育を経て、今では石膏像として実を結んでいます。その歩みは平坦ではなかったはずですし、さらに険しくなることでしょう。ですが、そこに立ち向かう覚悟を楽しんでいるかのようにさえ見えます。その一方で、神様は粋な計らいをしてくれました。美術教室という形を通して、美術の楽しみを多くの人々と分かち合う役割を担わせたのです。それもまた、吉田さんに与えられた使命なのでしょう。

小川原脩記念美術館 館長　柴　勤

吉田　みなみ

【略歴】
1993年　札幌市出身
2016年　東京造形大学造形学部美術学科彫刻専攻 卒業
2019年　蘭越町に移りアトリエを設ける
2020年　Yoshida Art School 開校
現　在　蘭越町在住

【近年の主な活動歴】
2009年　個展「キラキラ思春期」(T&F hanaagra／札幌)
「華やかな作家たち展」(T&F hanaagra／伊達)
2010年　個展「私ひとり以上」(アルテピアッツァ美唄／美唄)
個展「昔もみんな子どもだった」(To ov cafe／gallery／札幌)
「アートステージ500m美術館」(500m美術館／札幌)
2012年　個展「騒々しい想像の創造―わたし的天地」(ギャラリー犬養／札幌)
2016年　「PARTY」(遊美工房／岡山)
「＋ ー」(麻布十番ギャラリー／東京)
「EXIST vol.13」(JINENNギャラリー／東京)
2018年　「はるうららら」(To ov cafe／gallery／札幌)
2019年　「Art Collective Hokkaido」(アラ・モーダ／キロロ)
個展「FACE」(To ov cafe／gallery／札幌)
2021年　「ダンスにまつわるいろんなART展」(茶廊法邑／札幌)
個展「吉田みなみ彫刻展　地の上の人」(庭ギャラリー／札幌)
「白老文化芸術共創“ROOTS&ARTS Shiraoi”シルキオプロジェクト」(白老)
「第63回麓彩会展」(小川原脩記念美術館／倶知安)

夢中な人
2021年　石膏
100.0×45.0×30.0cm

ダンス
2020年　石膏
35.0×25.0×30.0cm

遠くにとどくひかり
2021年　石膏
145.0×70.0×30.0cm

吉田みなみ彫刻展 地の上の人 展示風景
2021年